

# 水稻の新害虫 「イネミズゾウムシ」に 注意しましょう!!

## 農業特集

### ◆ 発生の状況 ◆

アメリカ原産のこの害虫は全国的に広がり、山口県でも一市町に発生しております。近くでは美東町の真名で発見されています。

### ◆ どんな被害を 与えるか ◆

「成虫」 イネの若い葉を喰べ、越冬成虫は田植後から食害し、寄生が多いと活着不良や初期生育を抑えます。新成虫もイネの葉を食害しますが、余り被害はありません。

### ◆ どんな 虫でしょうか ◆

「幼虫」 根を食害するので、生育不良、甚だしい時は株絶えになります。したがって出穂の不揃いや登熟の遅れで40〜50%の減収になります。

### 「成虫」

体長3mmぐらいで、形は、昔からいるイネゾウムシに似ていますが、それよりは、ずっと小さく背中に斑紋があります。「卵」、乳白色でソーセージ状。長さは0.8mmぐらいで葉しよう内に産みつけられます。「幼虫」

ふ化直後の幼虫は透明ですがその後乳白色になります。腹部背面に6対の突起があり、成長すると8mmぐらいになります。

### ◆ この虫の生態は ◆

この害虫は雌だけで繁殖します。その一生は、図1のとおりです。

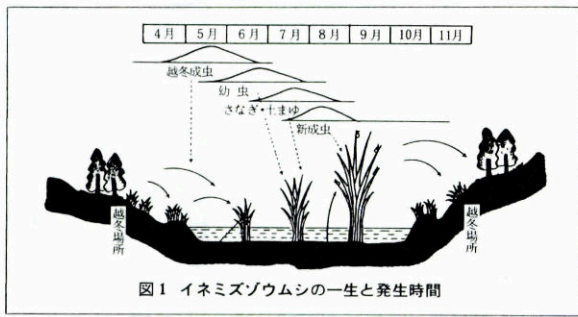


図1 イネミズゾウムシの一生と発生時間

### ◆ 発生の確認は ◆

侵入初期の成虫が少ないときには虫を見つけることが難しいが、イネの新葉に残された食痕で発生を知ることができます。イネの葉の食痕は1mm、長さ5〜10mmのかすり模様の細長いすじ状になります。

### ◆ 防除の方法は ◆

「耕種的防除」 一、成虫による被害を避けるため、田植時期をおくらせ、一斉に行う。二、稚苗移植は被害が大きいのので、中苗又は成苗植えが望ましい。三、イネが根腐れするような水田では、幼虫の被害が出やすいので、深水を避け根を健全に保つようにする。

### 「薬剤防除」

一、収量に及ぼす影響は、成虫より幼虫の被害が大きいのので、幼虫を対象とした防除に重点をおく。二、機械移植を行う場合は、田植前に育苗箱施薬を行う。三、育苗箱の消毒のできなかつた場合や、成虫密度の高い地域では、田植後10〜15日の間に粒剤の水面施用を行う。以上が対策ですが、農薬の種類など詳しいことについては農協生産課、町経済課へご連絡下さい。

山口県庁舎竣工記念  
特別展

「雲谷等顔と

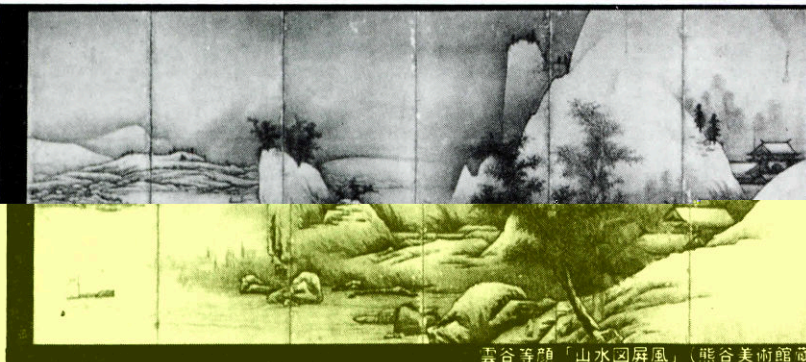
桃山時代」開催

昭和59年6月12日 火 7月22日 日

月曜日休館

9時から16時30分まで(入館は16時)

山口県立美術館



雲谷等顔「山水図屏風」(熊谷美術館蔵)